

ひかり結ぶまち



かりや 景観れぽーと

テーマ
橋のある風景

VOL.2

発行日：平成10年12月1日
発行：刈谷市都市計画課
TEL (0566) 62-1022



津島橋と津島川緑地

ひんやりとした朝をむかえるようになりました。
まちの木々も葉を落として、冬支度をはじめています。
総合運動公園と隣接する津島川の河川敷には、
渡り鳥の姿が見られるようになり、
冬の景色を彩っています。



■今号のテーマ■

橋のある風景



雄大な風景の広がる橋

平成大橋

平成大橋の真ん中に立ってみると、目の前に境川と逢妻川が寄り添うように海に向かって流れる雄大な風景が広がります。二つの川を隔てる堤防には車が一台通れる幅のみちがあります。誰にもじゃまされずにぶらぶらと歩いてみれば、そこは水辺と空につつまれた、大きな気持ちになれる場所。



コンクリートの古い橋

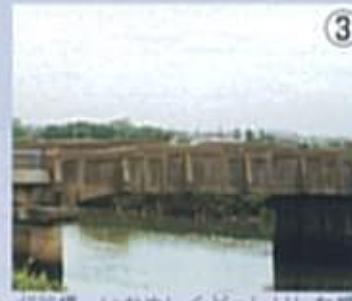
最近では徐々に改修されて数少なくなったコンクリートの橋です。ちょっと変わったデザインですが、長年の存在感のためか、川の風景にとけ込んで見えます。



清水橋 四角のまどがかわいらしい

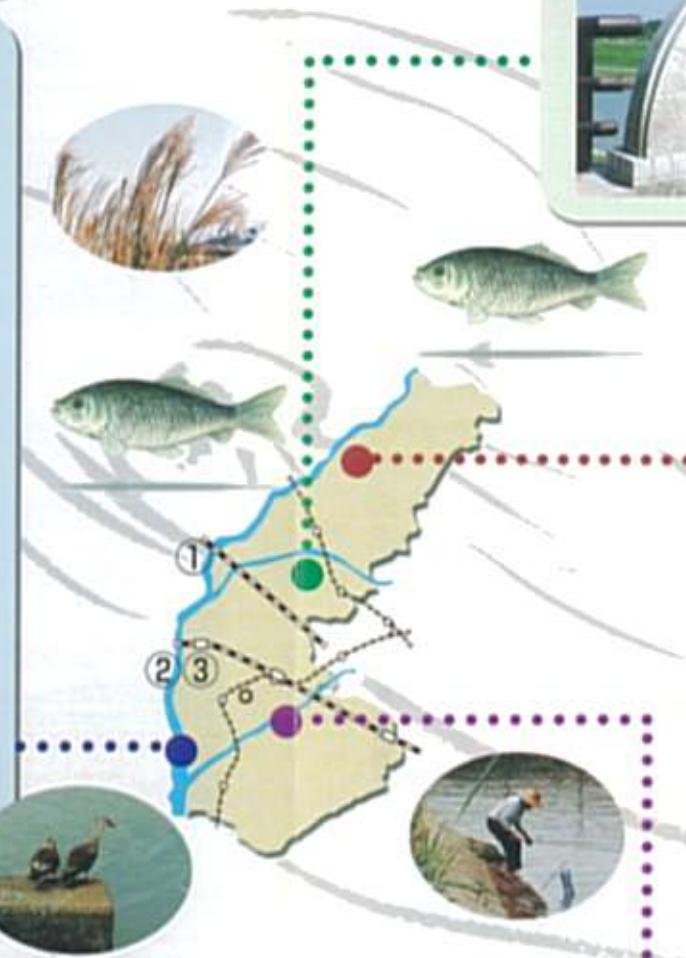


境橋 繊細で上品な感じ



刈谷橋 いかめしくどっしりした感じ

刈谷のまちには三つの大きな川が流れています。まちの西側を流れるのが境川、北部の丘陵地と中部の市街地を分けるのが逢妻川、そして、中部と南部の田園地域を分けるのが猿渡川です。川にかかる橋の風景や、橋から見える川の風景にはいろんな表情が見られます。



ゆったりとした河川敷にかかる橋

逢妻橋・逢妻川橋

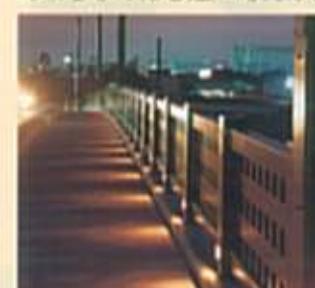
逢妻川に仲良く並んだ2つの橋からは、水辺の階段状の芝生広場とその向こうに総合運動公園を見渡すことができます。日曜日には、ピクニックのファミリー、カップル、トレーナー姿の若者などいろいろな人が集まっています。また、橋の欄干にもたれてバードウォッチングなどいかが?



東海道の歴史を刻む橋

境橋

境橋の由来は江戸時代の東海道にさかのぼります。何度も架け替えが繰り返され、平成5年にその長い歴史が橋のデザインに取り入れられました。夜の橋の姿はちょっと新しい感じがします。この橋に続く旧東海道のまちなみにも江戸時代のなごりが残見できるはず。



海岸線の面影につつまれた橋

巡見橋

巡見橋は、猿渡川の河口から数えて2つめに架かる橋です。この付近には船着き場があったり、なんとなく川というより海に近い雰囲気が漂っています。それもそのはず、近世頃まで海岸線であったと言うことです。





●かりやウォッチング●

「子供達の元気な声が聞こえてきます」

—かりがね小学校周辺の緑道—

かりがね小学校に近いこの緑道は、並木と花に囲まれたゆるやかなカーブを描く小道で、まわりの家々とほどよくなじんだすきな場所です。登下校時には子供たちの元気な声でぎわい、みどりも花もいきいきとして見えます。



●2つの写真展が開催されました●

平成10年3月21日(土)~29日(日)
中央図書館2F展示コーナーにて

なつかしの景観写真展

刈谷のまちの昭和38年、39年頃の写真38点が展示されました。若い人からお年寄りまで、ご来場いただきました。



親子で撮った刈谷の風景写真展

市内の3つの小学校の児童とその保護者の280組によって撮影された写真2313点が展示されました。会場には親子で写真に見入る姿が見られました。写真展を企画された愛知教育大学の寺本先生は、分類結果より「刈谷市民は自然的な要素を保全した景観や、美しく愛着ある建築物の景観を重要視していることが伝わってきます。」とコメントしています。



情報コーナー

「かりやウォッチング」の募集

まちの景観を構成しているものは、道路や公園などの公共施設だけではなく、みなさんの身近にある建物の外壁や生け垣、庭木なども美しい景観を創り出すものではないでしょうか？あなたの知っているすてきな街角を、「かりやウォッチング」のコーナーで取り上げていきたいと思いますので、是非ご紹介ください。

(窓口：都市計画課)



撮影写真の分類結果

①自然系景観	1107枚	47.8%
②交通系景観	281枚	12.1%
③建築物系景観	689枚	29.8%
④商店・看板系景観	33枚	1.4%
⑤人・祭り系景観	150枚	6.5%
⑥その他	53枚	2.4%

●編集後記●

「かりや景観ればーと」では刈谷の景観をじっくりと見つめ、刈谷のまちづくりについて考えていくための情報を発信していきたいと考えています。皆さんの情報も是非お寄せください。

次号のテーマは
「街の風景」です